

第425回: 主席命令「厕所革命」

小生、残業はしないが朝は早い。毎日 7 時半に出社して、ネット情報に目を通すことから日課が始まる。中国情報源には「ブックマーク」を付けているので、「中国軍網」、「新華社」、「規検委」といった順番で面白そうなニュースを探している。

今朝、中国人民解放軍や新華社ニュース、つまり中国国営メディアのトップ記事を見て驚愕した。中国語でこう書いてある。日本人でもすぐ読める。

習近平: 堅持不懈推進「厕所革命」

新華社北京 11 月 27 日電。中共中央総書記、国家主席、中央軍事委員会主席、習近平近日就旅遊系統推進「厕所革命」工作取得的成效作出重要指示…(以下略)。

革命に関する重要指示とはおだやかではない。文化大革命でも始まるのか一瞬焦ったが、よくよく見るとトイレに関する革命の記事であった。日本語で便所、トイレを古くは雪隠とか厠と呼んだように、中国語でもトイレは「厕所」と書き、ツォースオーと発音する。

中国の習近平主席は政府が進めている公衆トイレ美化運動で更なる改善を求める異例の「重要指示」を出した。トイレ美化運動は大変結構なことだが、中国の最高指導者が直々に命令を下すのは極めて異例の椿事である。主席はトイレ問題に並々ならぬ関心を寄せているようで、2 年前にもトイレ革命の指示を出して、大都市や観光地を中心に劣悪なトイレ事情の改善に注力してきたが、まだまだ不十分のようだ。

今朝の読売新聞が、【「ニーハオ」トイレ早くおさらば】と見出しを打っているように、中国のトイレ事情は、まことに劣悪。中国に行けばすぐわかるが、外国人観光客が死ぬほど嫌がるのがトイレだ。

中国にやってきた観光客の多くは中華料理に感激し、美味い美味いと大量に飲み食いするのだが、翌日ホテルを出発し、バスに乗って観光地巡りが始まり、その途中で(大の方の)用を足したくなったとき試練が訪れる。尾籠なハナシで恐縮だが、人体九竅、入り口で堪能し、出口で難渋するわけだ。

中国では公衆トイレの多くに間仕切りがない、というかトイレが個室になっていない。しゃがんだとき、肩の高さまで左右の壁はあるが仕切りの高さが低い。しゃがんで用を足しているとき、隣人の様子は見えないが、中腰になれば見たくないモノが丸見えとなってしまう。

20 年前の中国では、故宮や万里の長城のような世界に名だたる観光名所ですら、トイレには間仕切りがなかった。ボクも一度だけ切羽詰ってニーハオ・トイレにしゃがんだことがあったが、となりのおじさんと目が合ったとき、思わずワー！と泣きたくなった。

日本人の観光ガイドにとって、観光地のトイレ事情の情報収集は極めて重要な義務である。

むかしは選択の余地がなかったが、最近では有料トイレや、一流レストランの清潔なトイレ等のチョイスが広がっており、探せばなんとかなるケースも多い。万里の長城に行った知人が、決死の覚悟でニーハオ・トイレに入って用を足し、バスに戻ったとき、隣の観光客が「有料トイレで助かった」と話しているのを聞き、

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

何も教えてくれなかった旅行ガイドに殺意を覚えたそう。

中国で10数年暮らしたボクの経験を披露すると、マクドナルドのトイレは清潔、スターバックスも良いのだがトイレのないところもある。デパートのトイレは、当たり外れはあるが、公衆トイレよりはまし、でもトイレトペーパーは備え付けてないところが多いので注意が必要。でもこれは昔の情報、最近の事情は不詳。

中共中央総書記、国家主席、軍事委員会主席であらせられる習近平氏の「最高指示」の主旨は観光産業の振興だけでもなさそう。

記事を読むと、「トイレ問題は観光環境の改善のみならず、広く人民生活環境の改善、国民資質のレベルアップ、社会文明の進歩にも関連する重要事項」とあり、ずいぶん格調が高い。

習主席は18回党大会以降、国内出張で農村を視察するたびに、農家を訪れ「ここは水洗トイレか、それとも汲み取り式か」と直に訊ねているという。習氏は少年時代、副首相の要職にあった父親が失脚した関係で、黄土高原の彼方の陝西省延安市延川県に7年間も下放され辛酸を嘗めた。住まいは山の崖っぷちに掘った「窯洞」と呼ばれる洞穴式住居、もちろん水洗トイレがあるわけもない。彼の嘗めた辛酸のなかに、きっとトイレ事情も含まれていたに違いない。

最高指導者が直接下す「指示」は極めて重要で、それを受けたら何が何でも守る義務がある。

むかし毛沢東が、米を食い荒らすスズメを駆除せよと「最高指示」を出したことがある。当時北京に住んでいた日本人から聞いた話だが、北京市内では全住民が鉦と太鼓のようなものを持ち歩き、スズメが電線や垣根に停まるたびに、太鼓を打ち鳴らし、遂に飛び疲れたスズメがバタバタと落ちてくるまで止めなかったという。

これが中国式大衆運動の恐ろしさである。最近中国の公衆トイレに、その整備の程度に応じ、星印を付けたトイレが増えており、重慶や上海では、入り口に5つの星印のあるトイレが登場したという。

もちろん個室が用意され、女子トイレにはシャンデリアが輝き、集中制御エアコンやアロマディフューザー、テレビまで備え付けられており、正に five star の快適空間・・・でもちょっとやりすぎでは。

習主席のトイレへのこだわりは、外人観光客にとっては歓迎すべき朗報だが、中国人のなかには違和感を覚えた人も多い。天下国家のために、もっと優先することもあるのではないかと。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成29年11月28日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

① 株式の手数料等およびリスクについて

- ・ 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420% (税込み)、最低 3,240 円 (税込み) (売却約定代金が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- ・ 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金) に現地委託手数料と税金等を買の場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8640% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

② 債券の手数料等およびリスクについて

- ・ 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

- ・ 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④ 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- ・ 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- ・ 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320% (税込み)、最低 2,700 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3

